



月刊「にじのはし」45号
(令和3年3月号)

報告や実際の支援のケースについて話し合いました。2月は虐待防止研修で学んだことを元に職員ひとりひとりが支援時の悩みや、よりよい支援の方法について話し合う機会を持ちました。さらに、より本人主体の個別支援計画を実施できるよう、情報の整理や分析を見直しました。研修や最新情報を常に入手し、職員ひとりひとりのスキルアップを行い、よりよい支援ができるよう、引き続き取り組んでまいります。

HUGを使用した利用のお申込みも2ヶ月目になりました。保護者様からのご質問も少なくなり、ご活用頂けているのではないかと感じております。また、評価アンケートの結果は集計のうえ、報告書を4月に郵送させていただきます。

今号は2月の活動を振り返ります。どうぞお楽しみください。

2月は日数も少ないせいか、「二月は逃げる」の言葉通り、あっという間に過ぎた気がします。

れいんぼーでは、午前中の電話面談や会議の合間を縫って、社外研修の報告



↑小4男子の
ねんど作品

2月のお誕生日会

2月24日(水)に、2月のお誕生日会を開催しました。2月のお誕生日の子は高校2年生の男子ひとりだけで、記念写真を撮影する壁飾りも、ご本人の身長に合わせて高めの位置に貼り付けました。

リクエストの紹介曲は髭ダンの「宿命」、黙食でのおやつタイムには髭ダンメドレーを流しました。

恒例のお友達クイズは、お誕生日の子の好きなことや、していることなどが出題されましたが、小学生の正解率が高く、普段交流が少ないようでも、ちゃんとその子の様子を見ていて、仲間意識を持って



くれている

のを嬉しく感じました。誕生日会ゲームの「風船ぼんぼんゲーム」は、ペアで風船をパスしながら、室内を一周して時間を計るゲームでした。

案外難しく、苦戦するチームが続きましたが、相手が受け取れるようにそっとパスをした中学生女子のペアが大差で優勝しました。



2月の活動プログラムより

2月の**工作プログラム**では、紙袋で鬼のお面を作りました。感染対策のため、紙袋は新たに購入したものを使用しました。鬼らしく丸みのあるシルエットにするため、紙袋を裏返しにして丸みをつけ、顔やツノ、ビニール紐の髪を付けました。鬼を個性的なキャラクターにしたり、フェイスシールドを付けたりと、今年らしい作品になりました。**料理プログラム**は、秋田県の郷土料理「きりたんぼ」に入れる、**たんぼ餅**のおやつを作りました。炊き立てのごはんを潰して餅状にし、形を整えて甘い味噌じょうゆのたれを塗り、オーブンで焼いたらできあがり。素朴な甘さとボリュームで満足感の高いおやつができました。

音楽プログラムは、**ドレミの歌**を使って、歌詞の面白さや、二つのパートに分かれる旋律に親しみました。歌詞を表現するように自然に身体を動き、みんなが知っている曲を楽しみました。**英語プログラム**は、最初から最後まで全て英語のみで、**Fish or Animal** というゲームをしました。カードが魚の時は「フィッシュ！」と言って魚の絵の箱に入れます。当たったら**Great!** はずれても**Nice try!**と応援する言葉も知りました。**ゲーム大会・運動プログラム**では、新しいメニューを取り入れました。**綱渡りじゃんけん**は、床に蛇行するようにテープを貼り、それを綱に見立てて、落ちないように歩き、反対側から歩いて来た子とじゃんけんして、勝ったら進み、負けたら戻って次の子がスタートします。みんなテープの上をそろそろ歩き、じゃんけんで盛り上がりました。

